



議会だより

かたしな

発行 片品村議会

No. 155

2018. 1. 19



第2回中学生議会に参加した生徒さん（議場にて）

主 な 内 容

◆ 第8回定例会（12月議会）で決まったこと	2
◆ 一般質問、陳情審議結果	3
◆ 常任委員会、第7回臨時会	4～5
◆ 行政視察報告	6～7
◆ 第2回中学生議会、ようこそ有権者	8
◆ 議員OBの声、議案内容及び議決一覧、議会活動等	9～10

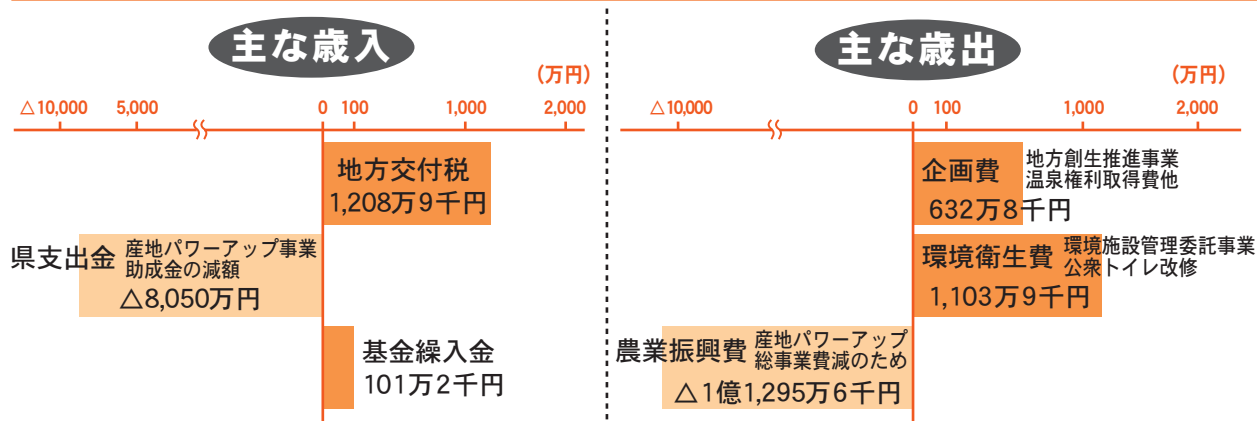
12月定例議会で決まったこと

平成29年第8回片品村定例議会(12月議会)を、12月5日~12日までの8日間にわたり開催しました。平成29年度一般会計補正予算、平成29年度特別会計補正予算、条例の一部改正等の議案が提案され、いずれも全員賛成で原案どおり可決しました。

平成29年度12月各会計別予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一般会計補正予算(第4号)	△6,295万円	45億3,538万7千円
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	4,000万円	9億4,617万4千円
簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	400万円	1億1,711万1千円
介護保険特別会計補正予算(第2号)	4,691万2千円	5億6,998万1千円
下水道事業等特別会計補正予算(第2号)	50万円	9,797万7千円

一般会計補正予算(第4号)



国民健康保険特別会計(第2号)

主な歳入	基金繰入金	4,000万円
主な歳出	保険給付費他	4,000万円

簡易水道事業特別会計(第2号)

主な歳入	水道使用料	100万円
	一般会計繰入金	300万円
主な歳出	施設管理費他	400万円

介護保険特別会計(第2号)

主な歳入	国庫支出金	1,438万2千円
	支払基金交付金	1,590万4千円
	県支出金	910万円
	一般会計繰入金	752万6千円
主な歳出	保険給付費	5,680万円
	基金積立金	△1,079万2千円

下水道事業特別会計(第2号)

主な歳入	使用料及び手数料	50万円
主な歳出	下水道施設建設費	45万9千円

片品村固定資産評価審査委員会委員の選任

・固定資産評価審査委員会委員が欠員のため、2名を選任することに同意を求められ、議会は全員一致で同意しました。



氏名：星野 司氏
住所：菅沼



氏名：萩原 行雄氏
住所：土出

片品村副村長の選任

・副村長欠員のため、金子 賢司氏(東小川)を選任することに同意を求められ、議会は全員一致で同意しました。



就任日：平成30年1月1日

村政を問う！

一般質問



高山悦夫 議員

問 人口減少が進む中で、婚活支援、結婚支援、出産支援、子育て支援などについてどのように考えているか聞きたい。

答 (村長)

片品村では現在、婚活については相談等があった場合には、県で行っている「ぐんま赤い糸プロジェクト」における婚活イベント情報を紹介しています。今後は専門家や議員の皆様など有識者の意見を聴きながら、方法などを検討していきたいと考えております。

出産支援についてはですが、第3子以降の子を支給対象とした出産祝い金を支給しています。

また、今年度から出産後の早期から支援が必要な母子を対象に、心身のケアや育児支援を行う「産後ケア事業」を開始しました。

働くお母さんが安心して子育てと仕事ができる家庭の支援としては、保育料の一部無料化と、片品保育所での11時間保育を実施しております。今年度から始めた、尾瀬放課後児童クラブは、県内でも数少ない、利用料なしの子育て支援サービスとなっております。

問 アイターン・ユーターナーの支援について聞きたい。

答 (村長)

アイターン・ユーターナー者が移住するため必要な住む場所や仕事の紹介を片品村公式ホームページで行っております。「片品村定住促進家賃補助金」という、アイターン・ユーターナー者への家賃補助

も継続していきたいと考えています。さらに移住政策を促進していく中で最も重要な要素である住む場所の提供が不足している現状を改善していくため、定住促進住宅の整備についても検討していきたいと考えています。

問 村民参加型の村政をどのような形でお願いしていくのか説明してほしい。

答 (村長)

村民の皆様の意見や提言を余すことなく取り入れながら、決断と実行を心掛け、常に将来を見据えて、子や孫の世代に課題を先送りすることなく、村政の発展に取り組んで行こうと考えております。現在、建設工事が進められている「道の駅尾瀬かたしな」の活用も行政が主体となるのではなく、村民の積極的な参加が事業の成功に繋がるものだと考えおります。村民に協力をお願いしていくと同時に、新しい施策や事業などの提案があれば、機会を問わず、遠慮なくご提言頂ければありがたい

いと考えております。

問 道の駅の建設が進んでいますが、建設関係や開業準備、営業等に関する準備は順調に進んでいるか。

答 (村長)

建設の関係につきましては、概ね予定の工期どおり進んでいます。また、村民が自由な発想で来客者に料理の提供ができる「村民キッチン」と、役場裏側に整備をした「食品加工所」についても、それぞれ約30名の村民が利用したいとの意向があり、利用者組合の設立に向けて準備を進めております。さらに、加工品の開発を後押しするための講習会にも30名以上の参加があるなど、住民を巻き込み、気運を高めながら開業に向けた準備が進められているところです。

こうしたことを弾みにして、多くの村民の皆様とともに、施設を村の大きな核としていくため、より一層の村民参加型による施設運営を心がけて参りたいと考えております。

陳情審議決果

12月定例会において審議された陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成29年11月10日	「共同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書	埼玉県さいたま市南区南本町2-5-15 M.M オフィス 201号 日本労働者協同組合連合会センター事業団北関東事業本部 本部長 稲葉健太	観光産業常任委員会	採択

「共同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書を衆議院議長他関係者に提出しました。

第8回定例会

総務文教常任委員会

協議事項

一、所管事務について

問 現在、国民健康保険税の算定方法は、所得割・資産割・均等割

・平等割の4方式で算出していますが、来年度の国民健康保険制度改革に伴い、主流となっている資産割を除いた3方式の算定を検討しているようだが近隣町村の状況も踏まえて説明をしてほしい。

答（住民課長）

利根沼田管内では、所得割・均等割については一番低く資産割・平等割は中間で推移している状況です。

正式には、国民健康保険運営協議会で決めていただきますが、資産割を除く賦課が一般

的のため3方式にしていただけのように説明し理解をさせていただきます。よう考えています。

問 資産割を除くと国税の変動が大きくなるのでは？試算はしているか。

答（住民課長）

試算はしていません。大きな旅館、ホテルを個人経営している方については、税が低くなる場合もあるかと思

委員長

この問題は、お金に係ることで結論を出すのも難しいことですが、村民の方々にうまく理解してもらえないような対策及び周知の仕方について検討していただかないと不十分だと思

問 1週間当たりの勤務時間が60時間を超え

ると過労死ラインを超える状態と言われていますが、片品の小学校、中学校の勤務時間というのはある程度把握していますか。

答（教育長）

片品の小中学校の勤務の現状であります。現在は先生方一人一人の勤務時間を正確に把握できていない状況であります。来年度から

県作成のシステム導入の予定もありますので、現段階では教育委員会として具体的な把握の仕方を各学校に指示はしていません。そんな

ことから、学校独自の判断で把握をしてもらっている状況であります。

問 村民運動会の開催時期及び

種目の内容を検討するか。

答（教育委員会事務局長）

区や体育協会、社会体育の諮問機関であるスポ

ーツ推進委員会等の関係者に相談して、検討していきたいと思います。

問 村長に提案です、

村民運動会の時期やイベントを実施する際、戦略的に予定を組んで

答（村長）

村民運動会、道路愛護等も含めて、皆さんに参加していただけるように検討したいと思っています。

（委員長 高山悦夫）



村民運動会：玉入れで優勝した5区の皆さん

協議事項

一、所管事務について

問 武尊牧場線の除雪の対応は？

答（むらづくり観光課長）

旧武尊牧場スキー場のゲレンデや駐車場の雪遊びやクロスカントリースキーのコースとして使えるようにするため、武尊山観光開発（株）に委託して行います。

問 花の駅、片品で始める岩盤浴の入込み目標等は？

答（むらづくり観光課長）

収支目標を年間2万2千人の利用で、1人当たり450円を想定して、合計で990万円の収入を見込んでいます。

問 「道の駅」の入口の拡幅工事等は考えているか？

第8回定例会

観光産業常任委員会

協議事項

一、所管事務について

問 武尊牧場線の除雪の対応は？

答（むらづくり観光課長）

旧武尊牧場スキー場のゲレンデや駐車場の雪遊びやクロスカントリースキーのコースとして使えるようにするため、武尊山観光開発（株）に委託して行います。

問 花の駅、片品で始める岩盤浴の入込み目標等は？

答（むらづくり観光課長）

収支目標を年間2万2千人の利用で、1人当たり450円を想定して、合計で990万円の収入を見込んでいます。

問 「道の駅」の入口の拡幅工事等は考えているか？

答（むらづくり観光課長）

歩道橋と星野医院との間の村道をできる限り拡幅し、大型バスなどの出入りがスムーズになるようにします。

尾瀬方面からの右折車両によって渋滞するのではないかと心配の声があり、県の土木事務所へ右折レーン設置の要望をしています。用地取得の関係や歩道橋、敷設されているロードヒーティングの関係で、対応が難しいとの事ですが、今後も引き続き協議、要望等をしていきます。



拡幅を予定している役場横の村道

問 「道の駅」完成後、休日開催するイベント等の駐車場確保についての駐留確保について

答 (むら) くり観光課長 駐車場につきましては、道の駅の駐留場がいつぱいになりましたら文化センター、ほつこの湯、職員駐留場に駐留していただくよう考えていますが、それでも駐留場が全然足りないというような場合には、関係者と相談及び協議をしていきたいと思っております。

問 太陽光パネルの設置指針及び条例について

答 (むら) くり観光課長 片品村景観計画策定審議会で、太陽光発電の届け出を今現在、協議しています。近隣市町村の動向等を情報収集しながら検討をしていきたいと考えています。来年度、景観計画で規制がかけられるよう整備中ですが、家庭用のソーラー発電以上の10キロワットを超えるものに対して規制をしようということでは検討しています。



緑の基金で整備した菅沼から鎌田間

問 緑の基金の活用状況について

答 (農林建設課長) この緑の基金は、本市町村提案型事業については、平成26年度から事業に取り組んできています。これはほぼ100%の基金で賄われており、地区や団体の要望を踏まえて積極的に現在も推進しているところですが、実績になりますけれども、平成26年度で1地区、1・89ha、27年度で2地区、6・77ha、28年度で3地区、5・96ha、29年度も3地区、4・11haで今まで合計9地区、18・73haを実施してきました。

(委員長 千明 勉)

第7回議会臨時会で決まったこと

10月10日第7回議会臨時会を開催し、原案のとおり全員賛成で可決しました。

【工事請負契約の締結】

- 契約の目的：花の駅・片品岩盤浴施設増築工事
- 契約の方法：指名競争入札による契約
- 契約金額：58,644,000円
- 契約の相手方：群馬県利根郡みなかみ町後閑84番地3 増田建設株式会社 代表取締役 増田安永
- 工期：契約の日から平成30年3月30日まで

【財産の取得】

- 財産の種類：建物（木造2階建て）
- 床面積：182.67m²
- 取得金額：18,000,000円

【平成29年度片品村一般会計補正予算（第3号）】

- 歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ6,223,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を4,598,337,000円とした。内訳は、衆議院議員総選挙費用です。

【意見書の提出】

- 議員の発議により提出した「市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続」を求める意見書を可決し衆議院議長他関係者に提出しました。

計画の変更

○片品村過疎地域自立促進計画の変更

実施事業に変更が生じたため、片品小学校校庭整備事業を追加しました。

条例の一部改正

- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づき、村議会議員の期末手当について条例の一部を改正
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
農業協同組合法の改正により農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正

- 特別職の職員で常勤のものの給与等及び旅費に関する条例の一部を改正
人事院勧告に基づき、特別職の期末手当について条例の一部を改正
- 片品村職員の給与に関する条例等の一部改正
人事院勧告に基づき、職員の給料表等について条例の一部を改正
- 片品村税条例の一部改正
地方税法の改正に伴い、条例の一部を改正

総務文教常任委員会

～行政視察報告～



■視察の期日

平成29年10月30日～31日

■視察の場所

広島県神石高原町

■視察の目的

- ①出会い、結婚、出産、子育てからマイホームまで「切れ目のない支援」について
- ②人口減少施策について
- ③転入者の受入推進について

■視察の概要

神石高原町は、平成16年に神石郡内の4町村が合併して誕生した町で面積は381.98平方km、人口9,442人、標高400～500mの中国山地に位置し、トマトやぶどう、こんにゃくの農産物や、肉質の良いA5ランクの神石牛、帝釈峡しゃも地鶏など良質な特産品があります。

人口減少問題については、第1次ベビーブームの32,800人をピークに、昭和30年代から減少し、昭和45年には20,000人を割り込み急速な人口減少を経験しました。

現在、町の人口は10,000人を切り、人口減少による様々な問題が表面化しており、町民は、長年人口減少を経験したため「この町には何もない」などの言葉に代表されるように、地域への愛着やこの町へ住む誇りまで低下する現象となつていきます。

こうした中、町では平成26年10月から庁内の若手職員や地域おこし協力隊、青年、女性会、PTA代表など若い世代を招集し人口減少対策推進本部会議を開催、若者定住、Uターン促進プ

ランをベースにチャレンジプラン2019を策定、定住の加速化を目指し「挑戦の町」をスローガンにその実現に取り組んでいます。神石高原町の子育て支援策は、他の自治体に例を見ない程メニューが多く、子育てをするうえでよそにはない支援策や魅力があります。特に平成28年度からは、出会い、結婚、出産、子育て世代を中心とした支援策を充実強化しています。

町ぐるみで若者の出会いを紡ぐブライダルセンターを町が運営しており、結婚相談所によるカウンスリングやお見合いのセツティング、婚活イベントの開催など出会いの場を提供しています。

町青年会も町の外に暮らす若者のUターンを促すための同窓会イベント、30歳の成人式や消防団をターゲットにした婚活イベントを仕掛けるなど、町ぐるみの取組に広がっています。

■視察の結果

神石高原町では、未婚の男女を対象に、出会いの場の提供や結婚相談等の出会いから結婚に至るまでの支援を総合的に実施すること

で定住を促進し、町の活性化を図るため、結婚相談員を公募し現在8名の方が活動しています。その相談員の仲介により結婚し町内に居住した場合、婚姻1組につき報奨金を30万円支給しますが、実績はほとんどないため結婚相談員の増員をしていきたいとのことでした。さらに、結婚のための出会いの場を企画、実施する個人又は団体等へ参加者1人につき1,500円まで最大5万円を支援し、新婚夫婦には町内のみ使用可能な高原通貨10万円、仲人に同じく3万円を支給するという様々な施策を講じています。

子育て支援としては、1歳の誕生日を迎えたお子さんの保護者へ20万円を支給し、小学校、中学校の入学祝い金として児童生徒の保護者に高原通貨10万円を支給しています。医療費について、18歳までの自己負担額は、一つの医療機関ごとに、通院は月に4回、入院は月に14日まで1日500円。それ以降は無料です。給食費は、小学校、中学校ともに無料。保育料も第2子からは無料とするなどの多岐にわたる支援を行っています。



神石高原町役場前にて

家族の暮らし支援策として、町内に木造住宅を建築し居住する場合、町有林のヒノキを無償譲渡。子育て世帯、新婚世帯、新規転入者が町内に住宅を取得する費用の一部を最大150万円補助。住宅を新築した場合、固定資産税の2分の1を5年間奨励金として交付。さらに薪ストーブの購入、ゴミ処理機、浄化槽の設置助成などにも積極的に取り組んでいます。

以上が、神石高原町で研修してきた内容です。広島県内においても人口減少の加速度が著しい代表的な町です。その様々な施策には、町の重要課題として取り組んでいる様子が強く感じられました。片品村も例外ではなく、事の重大さを再認識し、問題解決に向けた事業の充実や新規事業への取組みが重要であると感じました。

(委員長 高山悦夫)

観光産業常任委員会

～行政視察報告～



■視察の期日

平成29年9月20日～21日

■視察の場所

- ①長野県小布施町
- ②山梨県甲州市

■視察の目的

(1) 長野県小布施町：町の活性化について

- ①6次産業の取組と今後の展望について
- ②景観の維持と町民との関わりについて

(2) 山梨県甲州市：産業振興について

- ①ブドウ栽培における行政の関わりについて
- ②ワイン販売促進対策について

■視察の概要

①小布施町は、長野県北西部の長野盆地に位置し、特徴ある風土を活かし、先覚の残した文化遺産を継承、発展させ「北斎と栗の町」「歴史と文化の町」として全国から注目され、近年は「花の町」小布施のコンセプトを加え、年間120万人の人が訪れる町です。

野市、東部を高山村、西部を長野市、南部を須坂市、北部を甲斐市に囲まれた自然豊かな総面積が19平方kmの平坦な農村地帯で、町役場を中心とする半径2kmの円にほとんどの集落が入るコンパクトな町で、人口は約10,500人、住民同士が互いに顔を知り合える組織圏が形成されています。

気候は中央高地型気候区に属し、最高気温35℃、最低気温マイナス15℃と内陸盆地特有の激しい寒暖の差があります。また、年間降水量は約900mmで、全国的にも極めて雨量の少ない地域です。特有の気候条件と、扇状地で酸性の礫質土壌は、りんごやぶどうなどの味の良い果物と、色合いや風味に秀でた特産の栗を産出しています。

②甲州市は、甲府盆地の東部に位置し、西部から南部にかけては山梨市及び笛吹市、東部は大月市、北都留郡丹波山村及び小菅村、北部は埼玉秩父市に接しており、都心から約100km圏内に位置しています。支

①小布施町は、1987年（昭和62年）、美術館「北斎館」などが開業し、その後徐々に地区に隣接して店を構え、和風に整備された地区の景観に一体感を与えている。小布施町内には9つの和菓子店があり、それぞれの特色を活かした製品を販売しています。また、町内では栽培された栗から60年先の室町時代から町内で栽培された栗菓子が多く販売され、今後6次産業化の先駆けの成功事例地区となつていく。片品村でも現在、村内で多く栽培されている農産物の中で特にトマトと花インゲンなどの豆類の加工品の商品開

■視察の結果

流が複合扇状地をつくり、なだらかな斜面に広がるブドウや桃などの果樹園は個性豊かな景観を形成しており、この果樹園風景は農村風景の中でも特筆すべきものとされています。

ブドウ、桃、スモモ、柿サクランボ、イチゴなどの果樹栽培を中心とした農業が基幹産業となっており、品質、生産量ともに日本有数の産地になっています。

また、勝沼地域を中心に大小30を超えるワイナリーで醸造されるワインは、生産量でも日本有数の産地になつており、地元のブドウを使つたワインの品質は国内外においても高く評価されています。

②ブドウ作り1,300年、ワイン作り130年の歴史を持つ甲州市は、日本におけるブドウ・ワインの発祥の地として、その振興を図るため、甲州市原産地呼称ワイン制度を平成22年に創設し、甲州市内及び山梨県内で収穫されたブドウを甲州市内の自社で醸造し、原料ブドウの「原産地」を消費者に保障することで、そのワインの供給と普及を促進することを目的としています。

発を専門家の助言を頂きながら行つており、来年以降に出来上がった商品が小布施町の栗のような成功事例になるよう期待しています。

また、町ではそこに住む人の生活の利便性と、訪れる人たちの心を配った空間のどちらにも心を配った落ち着いた町並を目指し、栗の角材を敷いた歩道や、土色の壁や屋根には壁にマッチした瓦を使うなどの景観を維持する取り組みをいち早くから取り入れていきます。

また、小布施人の「町を愛する心」「お客様をおもてなしする心」から生まれた「花のまちづくり事業」を進める中で生まれた「オーブンのまちづくり」の取り組みは、そこに住む人が楽しみながら、心を込めて作った個人が育てた庭園を来訪者の方に自由に見ていただくと言ふような珍しい取り組みを実践して成功しており、現在片品村で進めている道の駅やその周辺エリアの整備事業にも多岐にわたるものを取り入れられるものも多くあると感じました。



大和葡萄酒株式会社前にて

市の基幹産業である農業から生まれたワイン産業を守るために行政が全面的にバックアップする制度は、片品村に於いても、今後発生するかもしれない事例であり、共感するものがあります。

市の案内により訪れた老舗のワイナリーでは古来からその土地に伝わるブドウ品種を使うのはもとより、ブドウの旨味を表す成分のアミノ酸にもこだわり、生産契約を結ぶため、市内100地区で生産されたブドウの値を測定した後、数値の高い農家をお願いしているという。更には、肥料や土にもこだわるとの努力を積み重ねて、高品質でおいしいワイン造りを目指しているとのことでした。

甲州市のブドウやワイン造りに限らず、他の産地との差別化を図り消費者に受け入れてもらえるものを作るのには、生産者の熱意と努力や研究が必要であると改めて感じられ、片品村で生産される農林産物にも相通じるものがあると感じました。

(委員長 千明 勉)



第2回中学生議会開催 report.1



11月24日(金)第2回中学生議会が役場2階議場で開催され、42名の生徒が議員となり活発な提案をしていただきました。

今回は、保護者5名の方が傍聴し我が子の姿を見守っていただきました。

議会終了後、生徒に感想を書いていたいただきましたので紹介します。

① 私たちは子育て・教育の中でも、人口減少と少子化を防ぐという目的で「若者定住促進住宅」を提案しました。準備の段階から、片品には仕事などが無いので、村外からの移住者が少ないなど、様々な問題があり提案できるようにするのがとても大変でした。でも、提案をして村長さんからもお返事をいただくことができたので、100点だと思います。

今回のような経験は他の地域の中学生はすることのできないことだと思うので、学んだことをこれからに活かしていきたいと思います。

片品村についても今までよりずっと関心が深まったので、自分の村とこれからどのようにして関わっていくかも考えていきたいです。

② 発表をするのはとても緊張して、練習どおりにできなくてたくさん失敗をしてしまいましたが、私たちが今まで考えてきたものをしっかり伝えることはできたと思いました。大人になっても仕事とかでこういう風に人の前で発表するという場面があるかもしれません。その時にしっかり聞く人に伝えるための良い練習にもなったと思うし、あのような場所に入って話すことなんて普段できないことなので、とても貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

今後の片品に私たちの考えが少しでも役に立てれば良いと思います。

Welcome
ようこそ

ゆう けん しゃ
有権者

有権者として

まき
尾瀬高等学校3年 鍋木 麻綺 さん



8月に18歳の誕生日を迎え、有権者として実際に衆議院選挙、村長選挙に行ってきました。初めての選挙はとても緊張しましたが、自分の持つ一票が、片品村の、日本の未来を決めるものだと思うと、強い責任感を感じました。

片品村は高齢化が進むと同時に、若者の上京もあり少子化も進みつつあります。私は片品が好きなので、将来戻ってきて働こうと思っています。私のように上京していった若い人たちに片品に戻ってきたいと思ってもらえるように、SNSを利用するなどし、片品の魅力をたくさん発信して行って、多くの人に片品村をアピールできたらいいなと思っています。そうすれば片品村が今よりもっと活気のある村になるのではないのでしょうか。自分の故郷を誇れるように素晴らしい村になってほしいと思います。

議会活動日誌

10月 27日 群馬県町村議会議員研修会
30日~31日 総務文教常任委員会行政視察

11月 5日 道路愛護巡回督励
10日 千明村長退任式
13日 梅澤村長就任式
20日 地方自治法施行 70 周年記念式典
21日 議会運営委員会
" 議会全員協議会
22日 町村議会議長全国大会
" 豪雪地帯町村議会議長全国大会
24日 中学生議会
" 利根東部衛生施設組合議会

12月 1日 道の駅「尾瀬かたしな」登録証伝達式
5日 片品村降雪安全祈願祭
" 第8回議会定例会(12月議会)開会
" 補正予算説明会
" 第1回議会広報編集委員会
8日 観光産業常任委員会
" 総務文教常任委員会
1月 11日 ホワイトワールド尾瀬岩鞍安全祈願祭
12日 第8回議会定例会(12月議会)閉会
13日 上尾市議会正副議長来庁
18日 国保・介護保険運営協議会
21日 スノーパーク尾瀬戸倉安全祈願祭
1月 5日 消防団出初め式
" 新年賀詞交歓会
7日 片品村成人式

発行 片品村議会

責任者 千明 道太

編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)

かたしなフォトギャラリー



道の駅登録証伝達式



降雪安全祈願祭



梅澤村長就任式

○傍聴のお知らせ

3月議会を傍聴しませんか！

次回定例会は、3月6日(火)の予定です。

一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答(全文)は片品村公式ホームページ(HP)にて閲覧できます。HP掲載写真はフルカラーです。

URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

議会広報編集特別委員会

委員長 入澤登喜夫
副委員長 星野 栄二
委員 千明 道太
委員 萩原 正信
委員 後藤 眞平

編集委員長 入澤登喜夫

12月定例会が終了し、提案事項もすべて承認され、終了しました。また、11月13日には梅澤新村長が就任し、ともに創ろう、ふるさと片品のスローガンのもとで議員共々村民とともに良い村づくりに取り組んでいきます。なお、不在であった副村長が選任され、新村政の業務も動き始めました。今まで以上に活気ある村になることを期待し、編集後記と致します。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。暖冬による雪不足を心配する声をよそに、村民及びスキー関係者も千客万来のシーズンを期待し、2018年を迎えられたことと思います。